# 令和6年度 就学相談説明会

1. 指導主事挨拶

2. 就学相談について

3. 全体質問

4. 個別のご相談

# お子さんのよりよい就学に向けて
# ～就学相談のご案内～

中野区教育委員会事務局
学務課　特別支援教育係

# もくじ

1. 就学相談とは
2. 就学相談の流れ
3. 中野区の就学先について
4. よくある質問

# １．　就学相談とは

# １．就学相談とは

お子さんの発達の特性や状況を把握した上で、
お子さんが学校生活を送る上で必要な支援や、
お子さんの力を最大限伸ばすことができる就学先について、
保護者と就学相談専門員などの専門家が
一緒に考えていきます！

保護者の意向

小さいときの様子

相談歴

園での様子

医師の所見

発達検査の所見

# １．就学相談とは

対象：現在中野区在住で、
来年度４月に小学校・中学校に就学するお子さんの
保護者

<u>次の方は、必ず就学相談にお申し込みください。</u>

- 特別支援学級、都立特別支援学校への就学を希望している方
- どの就学先が子どもに合っているのか、迷っている方
- 区立学校への就学をご希望していて、医療的ケアなど特別な配慮を必要とする方

# 1．就学相談とは

相談の中で把握したことをもとに、
お子さんの力を最大限伸ばすことができる学びの場を
ご提案します。

特別支援学校

特別支援学級

通常の学級

様々な観点から
お子さんにとって
必要な支援を考えます！

# ２．　就学相談の流れ

| 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | １０月 | １１月 | １２月 | １月 | ２月 | ３月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

申込み受付

在籍園での行動観察　・　書類作成依頼

初回面談

知能検査　・　医学相談

就学支援会議（合同面接）・　報告

都の就学相談

体験入級　・　体験入学

就学先の決定

状況により順番が前後することもあります

全員

必要に応じて

# ①　申込み受付

提出先　　学務課　特別支援教育係

提出方法　　１：郵送　〒164-0011
中野区中央１－４１－２
子ども・若者支援センター
学務課　特別支援教育係

★レターパックや書留など、
発送の記録が残る方法がおすすめです

２：持参　子ども・若者支援センター　６階
受付カウンターで
「就学相談の書類を持ってきました」と
お伝えください。

中野区立中野東図書館
Google

提出書類

◎ 就学相談申込票
○ 今までに受けた検査結果のコピー
○ 愛の手帳、身体障害者手帳等のコピー
○ 医師診察記録

◎必須
○あれば

（※病院によっては書類作成が有料の場合があります）

書類の配付場所

- 中野区内保育園、幼稚園、こども園
- 区内療育施設
- すこやか福祉センター

中野区ホームページからもダウンロードできます

# ②　在籍園での行動観察・書類作成依頼

## 行動観察

日時　　園の先生と日程調整をしてから訪問します
保護者に訪問日時はお伝えしていません
※複数のお子さんを見に行く場合や、急な都合で日程を変更する場合などがあるため

訪問者　　就学相談専門員、特別支援教育係職員

目的　　集団生活での様子を見ること

# ②　在籍園での行動観察・書類作成依頼

## 書類作成依頼

申込み受付後、在籍園や療育施設の先生に書類作成をお願いします。
先生から受取り、初回面談で就学相談専門員に提出してください。

※アポロ園、ゆめなりあについては、
担当の先生から就学相談担当が直接受け取ります。
受け取った書類は、面談時に保護者にご覧いただきます。

# 中野区　就学相談資料

**【園の先生へ】**
お子さんに適した就学先を検討する上での資料とします。
園でのお子さんの様子をご記入いただき、保護者へお渡しください。
面談時に、この資料を保護者と一緒に見ながらお話をすることがあります。

**【保護者の皆さまへ】**
園の先生方には、初回面談日までにこの用紙の記入をしていただくよう、就学相談からお願いをしています。
園の先生から記入済の用紙を受け取り、就学相談の面談時にお持ちください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| （フリガナ）<br>児童氏名 | | 施設名 | |
| 記入者氏名 | | 記入日 | |

| 項目 | 記入時のポイント | 現在の状況・課題・配慮してきたこと等 |
|---|---|---|
| 着脱 | 介助が必要な程度<br>前後、裏表の意識<br>ボタンやファスナーのとめはずし<br>脱いだものをたためるか　等 | |
| 食事 | 介助が必要な程度<br>使用可能な食具<br>偏食・好き嫌い<br>食事の所要時間　等 | |
| 排泄 | 介助が必要な程度<br>尿意や失敗を伝えられるか<br>失敗する頻度　等 | |
| 持ち物管理 | 人と自分の持ち物の区別がつくか<br>片付けられるか　等 | |
| 安全管理 | どのような配慮と注意が必要か<br>園での対策状況<br>移動時の様子　等 | |

| 項目 | 記入時のポイント | 現在の状況・課題・配慮してきたこと等 |
|---|---|---|
| 対人関係<br>社会性 | 人への関心、周囲への意識、<br>集団参加の程度<br>友達とのトラブル　等 | |
| 指示理解 | 理解が可能な程度<br>（単語～複数指示）<br>視覚提示の必要性<br>一斉指示で動けるか<br>遊びのルール理解　等 | |
| 言語表現 | 要求や伝達の程度<br>困ったことを伝えられるか<br>発音の誤りや吃音の有無　等 | |
| 手指操作 | 製作、描画、書字の様子<br>道具や楽器の使用状況<br>触覚の過敏さ　等 | |
| 認識・知識 | 色・形、数、文字などの理解<br>得意なこと・好きなこと<br>語彙　等 | |
| 視力・聴力 | 視力・視野、聴力の課題<br>眼鏡・補聴器の使用の有無<br>生活上の配慮点　等<br>※特に無い場合は「特になし」と<br>ご記入ください | |
| 本児に対する<br>園の指導・<br>支援方針 | | |

# ③　初回面談

内容：就学に向けて不安なことについてお伺いします。
　　初回面談後の相談の流れを確認します。
時間：１時間程度
場所：子ども・若者支援センター（保護者のみ来所）

面談は、平日９時から１７時の間で行います。
お電話で日程を確認した後、案内を郵送します。

※面談の対象は保護者のみです。お子さんを
　お連れになる場合は、事前にご相談ください。

# ③　初回面談

お持ちいただくもの

①就学支援ファイル

：ご案内に同封しますので、ご記入の上お持ち下さい。

②園の先生に記入してもらった「就学相談資料」

③医師診察記録

④発達検査・知能検査の結果

⑤愛の手帳や身体障害者手帳・精神保健福祉手帳の写し

③は、
かかりつけの医師がいる場合に
お持ちください。

④⑤は、
お手元にある場合に
お持ちください

様式1

# 就学相談票

1　現在の教育等

| 現在通っている保育所・幼稚園、療育・相談機関、学校等 | | |
|---|---|---|
| | 名　　称 | 利用期間 |
| 保育所・幼稚園 | | 年　月～ |
| 療育・相談機関 | | 年　月～ |
| | | 年　月～ |
| 学　　校 | 立　　学校 | 学級　第5学年在学 |
| そ　の　他 | | |

2　就学を希望する学校（就学相談開始時点の希望校）

| 就学を希望する学校 | | |
|---|---|---|
| 区市町村立小学校・中学校 | 立　　学校 | 通常の学級・特別支援学級（固定） |
| | 立　　学校 | 通常の学級・特別支援学級（固定） |
| | 特別支援教室　の利用を希望する | 立　　学校 |
| | （言語・難聴・弱視）の通級による指導の利用を希望する | （　　学級） |
| 都・区・国・私立特別支援学校 | 立　　特別支援学校 学部・学級 | 知的・肢体・病・弱・視・聴 |
| | 立　　特別支援学校 学部・学級 | 知的・肢体・病・弱・視・聴 |

3　手続の有無

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 手　　帳 | 療育手帳（　　度）<br>療育手帳（　　）<br>年　月　日交付 | なし<br>申請中 | 身体障害者手帳（　　級）<br>年　月　日交付 | なし<br>申請中 |

4　情報提供してほしい内容について

(1) 就学相談の流れ　（　　）

(2) 教育内容等について　ア　通常の学級に関すること　（　　）
イ　特別支援学級に関すること　（　　）
ウ　通級による指導に関すること　（　　）
エ　特別支援教室に関すること　（　　）
オ　都立特別支援学校に関すること　（　　）

(3) その他（　　）

（こちらの面は、保護者の方に記入してもらいます。）

様式2

# 面　談　票

児童・生徒氏名：　　記入者：

| | |
|---|---|
| 現在の様子<br>・家庭や園・学校で<br>・困っていること<br>・気になること | |

| 現在の成育状態や成長・発達の様子など | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 現在の身長・体重 | 身長　　cm | 体重　　kg | | |
| 出生時のようす | 出生時身長　　cm | 出生時体重　　g | | |
| | 【特記事項】 | | | |
| 発育のようす | ①首のすわり　　歳　カ月 | ②寝返り　　歳　カ月 | | |
| | ③おすわり　　歳　カ月 | ④はいはい　　歳　カ月 | | |
| | ⑤つかまり立ち　　歳　カ月 | ⑥歩き始め　　歳　カ月 | | |
| | ⑦発語　　歳　カ月 | ⑧人見知り　　歳　カ月 | | |
| | 【特記事項】 | | | |
| 診断名（疑名等） | | | | |
| 診断を受けた病院等 | | | | |
| 既往について | 既往疾患名 | ①　　年 | | |
| | | ②　　年 | | |
| | | ③　　年 | | |
| | 食物<ある・なし> | 高熱 | ①発病名：　　（朝・昼・夕・夜） | |
| | | | ②発病名：　　（朝・昼・夕・夜） | |
| | アレルギー<ある・なし> | 発疹 | ③発病名：　　（朝・昼・夕・夜） | |
| | | | ④発病名：　　（朝・昼・夕・夜） | |
| | 既往時ケア<ある・なし> | 内容 | 吸引・胃ろう・経鼻経管栄養・腸ろう・導尿・酸素・人工呼吸器<br>その他（　　） | |
| | 【学校生活を送る上での配慮事項】 | | | |
| 療育・検査の経過 | これまでに実施した検査 | 実施機関 | 実施時期 | |
| | ① | | 年　月 | |
| | ② | | 年　月 | |

# ★　知能検査

以下の２点に該当する方は、初回面談日に知能検査を行います。

・おおむね１年以内に発達検査、知能検査を受けていない
・今後しばらく発達検査、知能検査を受ける予定がない

①検査実施
時間：１時間～１時間半程度
場所：子ども・若者支援センター
（お子さん・保護者で来所）

②検査のご報告
時間：30分程度
場所：子ども・若者支援センター
（保護者のみ来所）

# ★　医学相談

発達面や障害等に関して通院している医療機関がない方が対象です。
初回面談にて、日時を調整します。

内容：お子さんの発達面について医師がお話をお伺いし、
　　就学先や就学後の支援についてアドバイスをします。
時間：３０分程度
場所：子ども・若者支援センター（お子さん・保護者で来所）

医学相談は、７月から１２月までの間で実施します

# ④合同面接

内容：就学支援会議の出席者が、小集団活動の様子を観察します
時間：４５分程度
場所：子ども・若者支援センター　４階会議室

お子さん：４～６人程度の小集団活動に参加し、
設定された課題に取り組んでいただきます。

保護者　：合同面接の間、６階などでお待ちいただきます。

合同面接終了後はお帰りいただき、検討結果は後日お伝えします。

# ⑤就学支援会議

内容：お子さんの力を最大限伸ばすことのできる学びの場について
　　検討を行います。
時間：合同面接の後、１～２時間程度
場所：子ども・若者支援センター　４階会議室

特別支援学校の教員、特別支援学級の教員、
医師、教育学の教授、心理士、就学相談専門員等が集まり、
これまで収集したお子さんの情報を基に
１人１人の検討を行います。

➡ 就学相談としてご提案する就学先を決定します。

# ⑥報告・相談

内容：就学支援会議の検討内容をお伝えします。
　　就学先の決定に向けた相談をします。
時間：１時間程度
場所：子ども・若者支援センター（保護者のみ来所）

保護者に以下のことをお伝えします。

①合同面接での様子
②就学支援会議で検討したこと
③提案する就学先

以上のことをお聞きいただいた上で、
保護者の意向をお聞きしながら相談をすすめていきます。

# ★　体験

内容：特別支援学級や都立特別支援学校での授業体験を行います
時間：１～２時間程度（時数や開始時間等は学校による）

「特別支援学級」もしくは「特別支援学校」を就学先として提案された場合、授業体験ができます。

※「通常の学級」の場合には、原則行いません。

➡ 体験でのお子さんの様子をふまえ、就学先について引き続き話し合います

体験には、就学相談専門員も同行します！

# ⑥就学先の決定

就学支援会議の検討内容 と 体験での様子をふまえ、
保護者と一緒に就学先を決定します

- 状況に応じて、就学先の学校と面談を行います。
- 就学先決定後、就学相談資料を就学予定校に送付します。
- 就学通知は１２月に発送されます（小学校の場合）
- 特別支援学校に就学する場合は、区との相談で就学先を決めた後、都との相談を行います。

# ３．　中野区の就学先について

# ３．中野区の就学先について

お子さんの就学先として、以下の３つがあります。

①特別支援学校

②特別支援学級

③通常の学級

それぞれ対象となるお子さん、指導内容などが異なります。

# ①都立特別支援学校

対象：　身体の障害（聴覚、視覚、肢体不自由等）または中等度以上の知的障害があり、より専門的な教育を希望するお子さん

指導：　障害特性に合わせた設備や教材が用意されており、より専門的な指導を行う。

指導形態：児童６名に対し教員１名　（重複クラスは３：１）

通学方法：スクールバスもしくは公共交通機関

# ①都立特別支援学校

都立特別支援学校は、障害種により学校が異なります。

〇視覚障害　　：久我山青光学園 視覚障害教育部門
（世田谷区北烏山４-３７-１）
〇聴覚障害　　：大塚ろう学校　本校もしくは永福分教室
（豊島区巣鴨４-２０-８／杉並区永福１-７-２８）
〇知的障害　　：中野特別支援学校（中野区南台３-４６-２０）
〇肢体不自由　：永福学園（杉並区永福１-７-２８）
〇病弱　　：光明学園　病弱教育部門（世田谷区松原６-３８-２７）

## ②特別支援学級（知的障害学級）

対象：　発達の遅れにより日常生活を営むのに軽度の困難があり、学習場面で一部援助を必要とするお子さん

指導：　各々の課題に合わせた指導を行う。教科学習の他、生活上必要な知識や技能についても学習する。

指導形態：児童８名に対し教員１名

通学方法：徒歩もしくは公共交通機関

# ②特別支援学級

小学校６校、中学校３校に特別支援学級が設置されています。

小学校

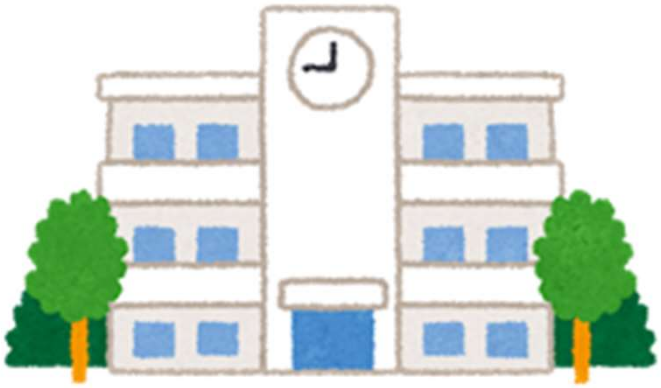
○ 江原小学校　　：わかば学級（江原町１-３９-１）
○ みなみの小学校　：神明学級（弥生町４-２７-１１）
○ 美鳩小学校　　：あおぞら学級（大和町４-２６-５）
○ 中野第一小学校　：ひまわり学級（本町３-１６-１）
○ 令和小学校　　：こだま学級（上高田５-３５-３）
○ 鷺の杜小学校　　：しらさぎ学級（鷺宮４－７－３）

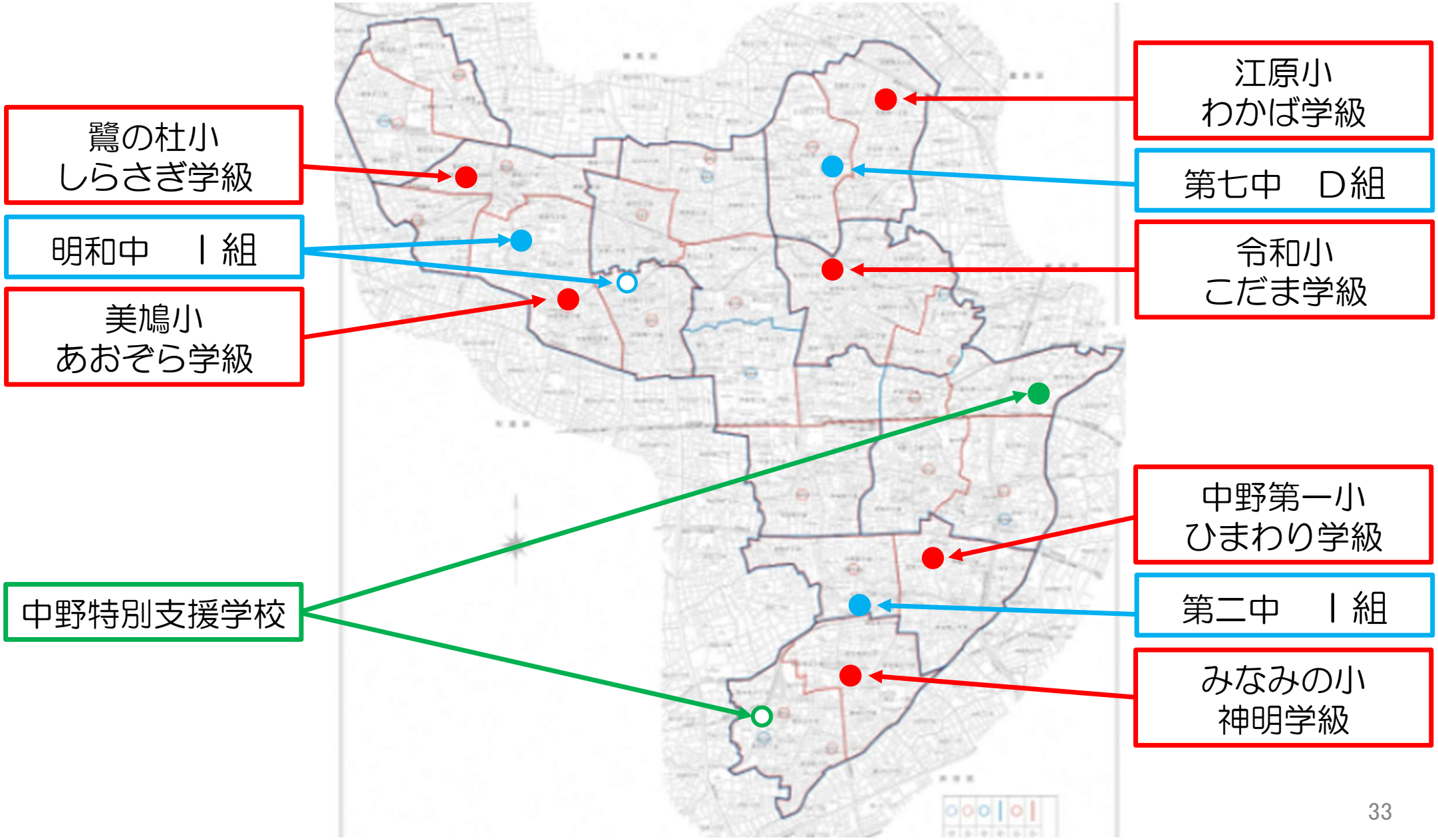
# ②特別支援学級

中学校

- 第二中学校：Ｉ組（本町５-２５-１）
- 第七中学校：Ｄ組（江古田２-９-１１）
- 明和中学校：Ｉ組（若宮１-１-１８）

※特別支援学級は、地域指定ではありませんが、
原則としてご自宅から最も近い学校への
就学をお勧めしています。




鷺の杜小
しらさぎ学級
明和中　Ｉ組
美鳩小
あおぞら学級
中野特別支援学校
江原小
わかば学級
第七中　Ｄ組
令和小
こだま学級
中野第一小
ひまわり学級
第二中　Ｉ組
みなみの小
神明学級

# ③通常の学級

指導：　学年ごとに学習内容が決められており、教科書に沿って学習を進める。

指導形態：１年生は１クラス１８～３５人に対し、教員１名
通学方法：学区制のため、原則徒歩

学級内での指導や関わり方の工夫に加えて
個別の指導が必要と判断された場合、
次のような教室を利用する場合があります。

# ③通常の学級：特別支援教室（巡回指導）

対象：　全般的な知的発達に遅れがなく、通常の学級の生活や学習に概ね参加できるものの、発達の特性により一部特別な支援を必要とするお子さん。
（自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害）

内容：・特性による生活上・学習上の課題や困難の改善または克服するための自立活動。在籍学級で授業を受ける代わりに、別室で特性に応じた指導を受ける。
・教科の補充は行わない。

指導形態：個別指導もしくはグループ指導
指導時間：週に１回、１時間以上

# ③通常の学級：特別支援教室（巡回指導）

全ての小・中学校に特別支援教室が設置されています。
小学校では、拠点校と巡回校を区内６つのブロックに分けています。

| | 拠点校 | 巡回校 |
|---|---|---|
| 1 | 中野本郷小 | 南台小、みなみの小、中野本郷小 |
| 2 | 塔山小 | 谷戸小、桃花小、中野第一小、塔山小 |
| 3 | 桃園第二小 | 白桜小、令和小、桃園第二小、 |
| 4 | 江古田小 | 江原小、緑野小、江古田小 |
| 5 | 啓明小 | 北原小、美鳩小、平和の森小、啓明小 |
| 6 | 武蔵台小 | 上鷺宮小、鷺の杜小、武蔵台小 |

# ③通常の学級：きこえとことばの教室

対象：　全般的な知的発達に遅れがなく、通常の学級の生活や学習に概ね参加できるものの、きこえ・ことばに関する課題のために特別な指導を受ける必要があるお子さん
（難聴、吃音、発音の問題等）

内容：・生活上・学習上の課題や困難の改善または克服するための自立活動。在籍学級で授業を受ける代わりに、別室で課題に応じた指導を受ける。
例）難聴→自分のきこえ方を知る、発音→正しい音の練習

指導形態：個別指導もしくはグループ指導
指導時間：週に１回、１時間以上
指導場所：桃花小学校

# ★特別支援教室・きこえとことばの教室について

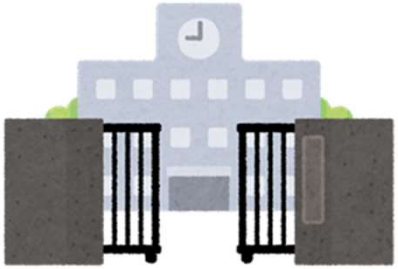
- 特別支援教室、きこえとことばの教室の利用手続きについては、原則として就学後に学校と相談してからすすめています。
- 指導の希望をする場合は、就学後、在籍校の先生にご相談下さい。指導開始までの流れについては、別途案内をご覧下さい。
- 長期間在籍する場所ではありません。お子さんの課題が改善または克服したと三者（保護者・在籍校・巡回もしくは通級指導教員）で確認できた場合、指導終了となります。

# よくあるご質問

通常の学級に就学した後に、
特別支援学級に転学することはできますか？

はい、できます。
学校の先生や教育委員会との相談の結果、
転学が必要と認められた場合は、
通常の学級・特別支援学級・特別支援学校の間で
転学をすることができます。

# よくあるご質問



住所地から決められた学校（指定校）とは
違う学校に行きたいのですが、変更できますか？
どんな手続きが必要ですか？

教育委員会が必要と認めた場合に限り、
就学する学校を変更することができます。
１２月以降に発送される就学通知を受け取った後、
期限日までに　学事係　にご相談ください。
変更の基準など詳しいことは、
学務課　学事係に直接お問合せください。

★ 支援学級は学区制ではありません。

# よくあるご質問

就学支援シートって何ですか？
どう使うものですか？

幼稚園・保育園・療育施設の先生が把握している
お子さんの様子や、現在行っている支援内容を、
就学先の学校に引き継ぐためのものです。
園の先生に書いてもらった資料を、
保護者ご自身で学校に提出し、
お子さんの様子を伝えます。

# 中野区　就学支援シート　記入例

## 中野区　就学支援シート　【保護者記入用】

| | | | |
|---|---|---|---|
| お子さんのお名前 | ふりがな | 保護者氏名（続柄） | （　　） |
| 住所： | | 連絡先☎： | |

※在籍の幼稚園・保育園にご相談いただき、支援や配慮が必要で、就学にあたり学校に伝えたい項目にご記入ください。すべての項目に記入しなくてもかまいません。

1. お子さんの遊びや生活の様子

| | |
|---|---|
| 得意なこと・好きなこと・伸ばしたいと思うこと | （例）〇〇で遊ぶこと<br>（例）〇〇のお手伝い<br>（例）絵本を読むこと |
| 苦手なこと | （例）家族以外の人と話すこと<br>（例）運動 |

2. 気をつけていること

| | |
|---|---|
| 日常生活 | （例）自分でできることは、時間がかかっても自分でやるように言っています。<br>（例）新しいことをやる前にあきらめてしまうことがあるので、チャレンジするよう励ましています。 |
| 遊び | （例）公園に行ったり、できるだけ体を動かして遊ぶようにしています。<br>（例）勝ち負けにこだわるので、負けた時に声をかけるようにしています。<br>（例）園以外でもお友達と遊ぶように心がけています。 |
| その他 | （例）一度にたくさん話すとパニックになってしまうので、1つずつ伝えるようにしています。 |

3. これまでお子さんのことで相談に行ったところ

| 相談機関 | 名称等 | 担当者等 | |
|---|---|---|---|
| すこやか福祉センター | 中部 ・ 北部 ・ 南部 ・ 鷺宮<br>（該当するものに〇をつけてください） | | |
| 医療機関 | 医院・クリニック 等 | 主治医等 | |
| 療育機関 | アポロ園・ゆめなりあ 等 | | |

4. 健康・身体のことで伝えたいこと

（例）手先が不器用で、折り紙などの細かい作業に時間がかかります。
（例）足首を動かしづらく、特に階段を下りるのが苦手です。

5. 保護者から学校に伝えたいこと

（例）はじめての環境に慣れるまでに時間がかかります。
（例）勝ち負けへのこだわりが強いので、お友達との関わりが心配です。
（例）全体的にゆっくりで、自分の気持ちをうまく表現できない可能性があります。

## 中野区　就学支援シート【幼稚園・保育園／療育機関等　記入用】

ご担当者様へ→　保護者とお話しした上で、これまでの支援や配慮について、就学にあたり学校に伝えたい項目にご記入ください。

お子さんのお名前：

| | | | |
|---|---|---|---|
| 園名/施設名 | | 記入者氏名 | |

1. お子さんの遊びや生活の様子

| | |
|---|---|
| 得意なこと・好きなこと・伸ばしたいと思うこと | （例）パズルやブロック遊び<br>（例）絵本を読むこと |
| 苦手なこと | （例）はさみ、のりづけ<br>（例）気分がのらない時は、みんなと同じ活動ができない時がある。 |

2. 気をつけていること・支援していること

| | |
|---|---|
| 日常生活 | （例）気が散りそうなものを置かないようにして、集中できるように環境を整備している。<br>（例）スケジュールを、書いたり絵や図にして表示し、見てわかるようにしてきたことで、スムーズにできるようになった。 |
| 遊び | （例）友だちが使っているおもちゃを黙ってとってしまうことがあるので、「〇〇したかったんだね？」等、気持ちを受けとめ、言葉にするようにしている。 |
| 活動等 | （例）苦手意識が強いので、できたことは必ず褒めて、達成感を実感できるよう働きかけてきた。<br>（例）活動前の説明を簡潔に伝えるようにしてきた。 |

3. 担任から学校に伝えたいこと

（例）4歳で入園し、慣れない間は戸惑っている様子でしたが、成長と共に友だちと関わる場面が増えてきました。トラブルになった時でも、できるだけ集団の中の一人として、ルールを簡潔に説明してきました。

就学相談についてご不明な点がありましたら、
お気軽にお問い合わせください。

中野区教育委員会事務局
学務課　特別支援教育係
子ども・若者支援センター　６階
電話：０３-５９３７－３２３８